

# 岩木山、八甲田山、八幡平、鳥海山、月山 山行記

## 夏の北東北の百名山を登る

2019年7月27日（土）～8月3日（土）

L：ハンブルクの星、非会員 1名

北東北の日本百名山5座に登頂した。  
この時期、北東北はまだ梅雨明けの直前だったので全般的に天候は今一だったが非常に味わい深い登山になった。

移動日の7/27は丁度台風6号が日本に上陸。早朝、浜松を出るときは猛烈な雨と風だったので東北まで新幹線が運休にならないか、不安だったが遅延もなく、無事弘前に到着。

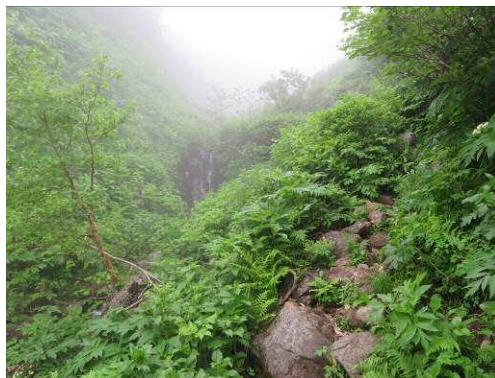
### 1. 岩木山

7/28（日）弘前市：晴れ、

岩木山：曇り後、ガス霧雨、後晴れ

岩木山は津軽富士と称され、秀麗な山容を誇る。岩木山神社登山口からのルートでスタート。神社の登山口を出発するころは快晴だったが高度をかせぐにつれて徐々にガスがかかってきて、焼止ヒュッテに着くころには濃いガスの中。ここからは大沢に沿って濡れた大岩が続く夏道を注意しながら登る。

岩だらけの沢底を進み、滝のような沢筋に沿って「坊主転がし」という急な登りが続いた。登り切った所が「錫杖清水」。



「坊主転がし」

ここからは雪渓になり、ガスも益々濃くなる中を注意して登ると鳳鳴ヒュッテに着いた。霧雨とガスと強風で視界が悪く、何とかルートを見つけて山頂に向かって進む。山頂に立った時は完全にガスの中、展望はゼロだったが、暫くすると嘘のようにガスが切れ始めて周囲の展望が徐々に現れ、日本海も望めるようになった。



「岩木山山頂」

更に 10 分くらい経つと青空が出始めて、180 度くらいの眺望が得られた。30 分くらい前に下山した登山者たちは山頂では何も見えなかったと言っていたのでラッキーだった。下山は鳳鳴ヒュッテからスカイラインの八合目の駐車場に降りて、ここから嶽温泉を経て、弘前市に帰着。下界は真夏の快晴だった。

#### コースタイム

7:50 岩木山神社前バス停着  
8:00 岩木山神社登山口  
9:30~9:40 姥石  
10:30~10:40 焼止ヒュッテ  
12:00~12:10 鳳鳴ヒュッテ  
12:50~13:20 岩木山山頂  
14:00 スカイライン 8 合目駐車場バス停着 16:00 嶽温泉バス停

## 2. 八甲田山大岳

7/29 (月) 青森市：晴れ、八甲田山：  
ガスと霧雨と強風

青森駅からバスにて酸ヶ湯温泉へ移動。この日も下界は快晴だったが酸ヶ湯温泉に着くころには曇りになる。今日の天候は大丈夫かなと嫌な予感がしたが、これがこの後悪い方への中してしまう。酸ヶ湯温泉登山口から湿原を巡る山頂周回コースを摂る。平日なので登山者は少ない。

だらだらした登りを終えると硫黄の臭いがする「地獄の湯沢」の沢筋に沿って

登る。暫く登ると「仙人岱」の湿原に出る。ここから樹林帯を進むがまたしてもガスが濃くなり、更に霧雨も降り出す。カッパを着る。樹林帯を過ぎて南の稜線に出ると今度は突風交じりの猛烈な風に見舞われる。山頂を諦めて下山してきた登山者も何人かいた。



「八甲田山大岳山頂」

風に煽られないように踏ん張って山頂直下のガレ場を登り、八甲田山大岳の山頂に立つ。展望はゼロで山頂には誰もいない。自撮りしているとやっと 1 人登って来たのでシャッターを頼んだら快く応じてくれた。山頂を過ぎて下山を始めると強風は嘘のように収まり、樹林帯を抜けると「上毛無岱」の高層湿原に至る。「丸沼」周辺は池塘とキンコウカの群落が素晴らしかった。

まだガスに覆われているが徐々に遠望も効くようになってくる。そして木道を進むと上毛無岱から突如、「下毛無岱」が望める所に出くわす。まるで映画の世界の

ような桃源郷のような素晴らしい光景だった。上毛無岱から急な高低差 100m位の木階段を下って下毛無岱へ移動。この後も木道を進んでぬかるんだ登山道を行くと酸ヶ湯温泉登山口に戻った。



「上毛無岱から下毛無岱を望む」

#### コースタイム

- 7:45 青森市駅前バス停発
- 8:50 酸ヶ湯温泉バス停着
- 9:00 登山口発
- 10:00~10:10 仙人岱
- 11:10~11:15 八甲田山山頂
- 11:30 大岳避難小屋
- 12:00~12:20 上毛無岱・丸沼
- 12:40 下毛無岱
- 13:10 酸ヶ湯温泉登山口戻る

### 3. 八幡平

7/30 (火) 盛岡市：曇り、八幡平：霧雨・ガス

盛岡駅からバスにて八幡平へ。この日下界は曇っていたがバスが八幡平に近づくにつれて天気は下り坂。そして八幡平の駐車場に着くころには大粒の雨とガスで何も見えない状況。登山口のレストハウスでカッパを着る。雨交じりの強風で展望は何も期待できそうにないが、雨に打たれているコバイケイソウ、アオモリアザミなどの高山植物はかえって色鮮やかで素晴らしかった。



「八幡平山頂」

駐車場から高山植物を眺めながらゆっくり進んでも 30 分ほどで八幡平山頂に立つ。山頂には展望塔があって登ってみたが雨交じりのガスの下では何も見えず。ここから避難小屋の陵雲荘まで移動。天候さえよければ源太森から茶臼山へのルートの予定だったが天候は悪いので仕方なく、ニッコウキスゲやハクサンチドリなどの群生と八幡沼他の幾つかの池塘を眺めながら駐車場に戻る。



「源太森湿原の木道」

#### コースタイム

- 9:10 盛岡駅前バス停発
- 10:50 八幡平駐車場着
- 11:10 駐車場の登山口発
- 11:40 鏡沼
- 12:10~12:20 八幡平山頂
- 12:40~13:00 陵雲荘
- 13:10 源太森分岐
- 13:30 八幡沼
- 14:00 八幡平駐車場戻る

#### 鉾立山荘

- 7/31 (水) 盛岡から酒田へ移動。この日は猛暑で快晴だった。
- 17:30 酒田駅にて相棒のHと合流、ここから車にて移動。
- 19:30 鉾立山荘着

#### 4. 鳥海山

8/1 (木) ガス、霧、後 晴れ

この日はコースタイムでも8時間ほどかかるので4時に起床、5時に鉾立山荘

出発。スタート時点では朝焼けで展望が期待できそうだったがまたしても高度をかせぐにつれてガスに覆われて展望は無い。北東北はまだ梅雨明けしていないということもあり、致し方なし。御浜小屋から御田ヶ原を経て七五三掛(しめかけ)へ至るルートでは強風も出て来た。

ここは外輪山コースと千蛇谷コースの分岐だが、晴れて展望が良ければ稜線の外輪山コースにするが、この天候では展望は期待できないので千蛇谷コースにした。ここから4回ほどやや長い雪渓が出て来て、慎重にトラバースして登る。山頂に近づくにつれてガスと霧雨と強風に悩まされながら鳥海山山頂直下の大物忌神社のある御室小屋に着く。ここから鳥海山(新山)山頂までは強風下の峻険な岩登りとなって慎重に登る。



「鳥海山(新山)山頂」

登山口から標高差1000mの鳥海山(新山)山頂に立つ。が、雨は上がったが依然としてガスが濃くて展望は殆ど無い。しか

し時折ガスが切れて青空も少し望めるので 30~40 分ほど山頂で粘っていると部分的ではあるが周囲の展望が開けて日本海も望めた。おそらく時間が経つにつれて天候が回復しそうだったが、これ以上山頂にとどまるわけにも行かないので下山開始。下りは胎内巡りという大岩の間を抜け、雪溪を渡って御室小屋に戻る。

強風は収まらないので下りも千蛇谷コースにして 15 分くらい進むとガスが一挙に晴れて、青空が出て来て鳥海山の山頂もくっきりと望めた。チョウカイアザミ、チョウカイフスマなどの鳥海山固有種の高山植物や山の緑が真っ青な空に映えて美しかった。



「千蛇ヶ谷から鳥海山を望む」

こうして下りでは高度を下げるにつれて天候が良くなり展望抜群の下、鉾立山荘登山口へ戻った。

#### コースタイム

- 5:00 鉾立山荘登山口出発
- 6:00 賽の河原
- 6:30 御浜小屋
- 7:00 御田ヶ原
- 7:45 七五三掛（しめかけ）
- 8:10 外輪山・千蛇ヶ谷分岐
- 8:25 千蛇ヶ谷の雪溪トラバース
- 9:50~10:20 御室小屋にて大休止
- 10:30 山頂目指して小屋出発
- 11:00~11:45 鳥海山山頂（新山）
- 11:50 下山開始（下山のルートは御胎内巡りのコース）
- 12:15~12:30 御室小屋に戻る。
- 13:20 千蛇ヶ谷の雪溪トラバース
- 14:20 外輪山・千蛇ヶ谷分岐
- 15:10 御浜小屋
- 15:45 賽の河原
- 16:30 鉾立山荘登山口に戻る

#### 5. 月山

8/2(金) 酒田市：晴れ、月山：晴れ、時々ガス

酒田市から車で約 2 時間、月山 8 合目駐車場到着。昨日(8/1) 北東北もやっと梅雨明けした。そして今日は嬉しい快晴。

月山に登るのは今回が 2 度目。前回は秋だった。登山口から両側に池塘が幾つも散在している湿原を見ながら木道を進む。月山も青空の下に遠望出来ている。平日なのに天気が良いせいか、登山者が

凄く多い。湿原地帯から急登の箇所を登り切って石が敷設された登山道を行くと仏生池小屋に着く。仏生池小屋からは緩やかな登りが続く。ミヤマキンポウゲ、ハクサンシャジン、ミヤマウスユキソウなどの豊富な高山植物は最盛期なのか、百花繚乱の雰囲気。

やがてオモワシ山を経てモックラ坂を越えると急な岩場の行者返しに出る。ここを経ると大峰に至る稜線に出たが、稜線上是北側からの風が強かった。このあたりは全体的にコバイケイソウの群生が多い。山頂近くでは雪渓もあり、遠くには鳥海山も眺望出来る。山岳信仰の山なので山頂に至るまでも多くの修験者とすれ違ったが、山頂に立つには月山神社本宮でお祓いを受けて（有料）本宮内に入ってからになる。



「月山山頂の月山神社本宮」

行者ヶ原や鳥海山などを眺めながら大休止を摂ってから下山開始。上りは大勢の登山者がいたが、下りはそのほとんどが姥ヶ岳を経てリフト駅へのルートを取るののでピストンコースは登山者が少なく、静かだった。仏生池小屋からは遠回りになるが弥陀ヶ原のルートを摂って、ニッコウキスゲ、キンコウカの群生と池塘群が散在する高層湿原をゆっくり堪能した。



「弥陀ヶ原と月山」

このあたりには月山と尾瀬にしか見られない氷河時代の生き残りの植物と言われている「オゼコウホウネ」の群生があるので探したが発見できなかった。

御田原参籠所を経て、月山8合目駐車場戻る。夏の月山の高山植物と池塘群が散在する高層湿原は実に見事だった。

コースタイム

8 : 00 月山 8 合目 駐車場 到着  
8 : 20 同、登山口 出発  
10 : 00～10 : 15 仏生池 小屋  
11 : 40～12:20 月山 山頂  
12:30 下山 開始  
13 : 30～13 : 40 仏生池 小屋  
15 : 00 弥陀ヶ原 湿原  
15 : 40 御田原 参籠所  
16:00 月山 8 合目 駐車場 戻る

5 座の全行程の山旅ログー測定情報

累積平面距離 : 51.4km

累積標高 (上り) 5,034m

累積標高 (下り) : 3,949m

( ハンブルクの星 記 )